

日本共産党の小松実でございます。発議案について、討論をおこないます。

初めに、発議案第2号、および23号、地球温暖化防止に関する二つの意見書についてのべます。わが国の温室効果ガスの排出量は、京都議定書の第一約束期間を迎えて、減少するどころか、逆に、増加しています。EU諸国が、中長期の拘束力ある目標を決め、産業界との実効ある協定を結び、環境税や排出量取引の導入などで、温室効果ガス削減に貴重、かつ着実な成果をあげていることと比べても、日本政府のとりくみには、真剣さも緊迫感もありません。北海道・洞爺湖サミットでも、緊急性を要する中期目標はもとより、長期目標についても先進国としての目標を掲げることは出来ませんでした。議長国としてのイニシアチブが発揮できなかった日本政府の責任は重大であり、海外マスコミの厳しい批判は当然であります。

日本の温暖化対策の後れ、EU諸国との決定的違いは、政府が財界の意向をうけて、中期削減目標の設定を棚上げしたまま、産業界の自主計画まかせで、国内総排出量の8割を占める産業部門での削減を本気で進めようとしていない点にこそあります。このような政府および財界の姿勢の転換なしに、日本の国際的責任はとうてい果たせません。ところが発議案第2号は、大量の温室効果ガスを排出している産業界の責任という、肝心かなめの中心点を棚上げしたまま、もっぱら国民に努力を呼びかけているだけです。問題のすりかえと言われても仕方ありません。よって、発議案2号「地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書案」には反対すると同時に、産業部門の責任と対策を明確にした発議案第23号「地球温暖化抑止政策の転換を求める意見書案」に賛成し、議員各位の賛同を強く求めるものです。

次に、発議案第21号「派遣労働者の保護を徹底し、労働者派遣法を派遣労働者保護法に改めるよう求める意見書案」について賛成の理由をのべます。

労働者派遣が1999年に「原則自由化」され、2004年には製造業へも解禁されたことから、2006年度の派遣労働者は321万人に上り、そのうち7割が日雇い派遣などの登録型となっています。派遣労働者は不安定雇用のもとで、低賃金と無権利状態を強いられています。なかでも日雇い派遣は「ワーキングプア」、「働く貧困層」の温床となっており、早急な対策が求められています。我が党も、国会論戦の中で厳しく追及してきましたが、その結果、政府与党は、社会的批判の大きい「日雇い派遣」を原則禁止する方向へと動き出さざるを得なくなっています。労働・雇用の破壊を根本から見直すことは日本社会が直面する緊急課題であり、日本社会の今後の安定的発展のためにも、派遣法の抜本改正が是非とも必要です。本議会からも声をあげるべき時です。よって、本発議案に賛成し、皆さんの賛同を求めるものです。

次に発議案第1号「拉致問題の早期解決のため、北朝鮮に対する経済制裁の継続を求め、テロ支援国家指定解除の撤回を求める意見書案」について、反対の立場から、その理由をのべます。

拉致問題の一刻も早い解決は、被害者家族と国民共通の、強い願いであることは言うまでもありません。日本共産党は、拉致問題を解決するためにも、日朝平壤宣言、および6カ国協議の合意にもとづいて、核問題、拉致問題、過去の清算問題などの包括的な解決を目指すことが、最も有効かつ現実的であると、主張してきました。6カ国協議の参加国、さらには、国際社会全体の理解を得てこそ、拉致問題解決の道が開かれる、このことを改

めて強調するものです。

ご承知の通り、北朝鮮が核計画の申告書を提出し、アメリカはテロ支援国家指定の解除の手続きに入りました。これは、6カ国協議が合意した北朝鮮非核化の「第二段階の措置」であり、日本政府も含めて6ヶ国で合意されていたことです。朝鮮半島の非核化に向けた重要な一步として歓迎すべきものです。

こうした核問題での前進によって、米朝両国がこれまでの敵対関係から脱し、朝鮮半島が平和と安定へ向けて前進することは、拉致問題解決にとっても、その進展を促す新しい条件となりうるものです。この間、米国を含めて関係国が日朝関係の改善を6カ国協議全体の帰趨にかかわる問題として、大きな関心を寄せ、北朝鮮に働きかけています。それは、今回の核計画申告書提出前に行われた日朝事務レベル協議の前進的内容にもあらわれています。ある課題が先行して前進した場合、それはその他の課題の前進の妨げになるのではなく、促進することになりうるのです。

いま、新しい条件が生まれているもとので、経済制裁の継続や強化、テロ支援国家指定解除撤回を求めることは、逆に、6カ国協議による朝鮮半島の非核化、平和と安定への大きな前進に水をさすようなものであり、それは、国民の悲願である拉致問題の解決を遠のかせるものでしかないことを指摘するものです。よって、本発議案に反対します。

以上で、討論を終わります。